

学習に新聞 重要性確認

県NIE推進協議会・懇談会

県NIE推進協議会(阿部和久会長)の2020年度総会・懇談会が31日、山形市の遊学館で開かれた。実践指定校の担当教諭らははじめ、県内の教育関係者と新聞・通信各社の代表ら約20人が出席し、新聞を活用した学習の充実について重要性を確認した。

本年度実践指定校はいず



れも新規指定の黄金小(鶴岡市) 白岩小(寒河江市) 真室川小(真室川町) 酒田

二中(酒田市) 山辺中(山辺町) 米沢東高(米沢市) 左沢高(大江町)の7校。2年間にわたって「NIE(教育に新聞を)」実践活動に取り組む。

総会後の懇談会では、阿部会長がオンラインによるまわし読み新聞という新たな取り組みを紹介しながら「時代にうまく対応し、知恵と工夫で素晴らしい実践に結びつけてほしい」とあ

NIE実践指定校の認定書を受け取る代表者

山形市・遊学館

いさつ。各実践指定校の代表者に、日本新聞協会の認定書を手渡した。

続いて各指定校の代表者が実践計画を発表し、児童生徒が気になる記事をスクラップして感想を書く取り組みのほか、国語や社会の授業で関連する記事を取り上げたり、意見交換したりする活動を紹介。「NIEを通して子どもたちの持つ可能性を広げていきたい」「自らも常にアンテナを張りながら記事を探していきたい」などと意気込みを語った。

(近岡国史)